

第1回

たんぼラグビー in 吉敷



開催
2022

5/21

会場

土曜

12:30~16:00

吉敷地域交流センター前のたんぼ

小雨決行



山口県、初開催

参加者、観戦者募集!

- ・試合参加・・・先着10名(小学生以上)
 - *ラグビー経験不要、大人から子どもまで安全に楽しめます。
 - ・どろんこ宝探し・・・先着10名 *小学生対象
 - ・観戦・・・無料、申込不要!(フォトコンテストも開催予定)
- 迫力満点の泥かぶり席あり

参加費：1人300円(保険費用、消耗品の購入のため)

持ち物：汚れてもいい靴・服、着替え、バスタオル

(水を浴びるスペース、トイレはあります)

受付場所：吉敷地域交流センター駐車場(山口市吉敷佐畑1丁目4-1)

申込方法：以下のいずれかの方法でお申込みください。*5月7日(土)〆切

・メール アミーゴやまぐち：amigoyamaguchi3@gmail.com

*タイトルを「吉敷たんぼラグビー申込」とし、氏名、中学生以下は保護者氏名、年齢、参加希望の競技を記入してください。



主催：アミーゴやまぐち
 後援：山口県ラグビーフットボール協会
 JA山口中央吉敷支所、山口市
 吉敷地区地域づくり協議会
 助成：公益財団法人マツダ財団

・電話 吉敷地域交流センター083-922-3915

泥まみれ 田んぼラグビー 山口 2022年05月22日 06時00分

山口市吉敷佐畑の吉敷地域交流センターに隣接する田んぼで21日、田んぼラグビー大会があり、市内の小学生や大学生ら約50人が、泥まみれになって田んぼの中を走り回った。

若者の居場所づくりグループ「アミーゴやまぐち」（石丸里奈代表）が初めて開催。タックルの代わりにタッチすることでディフェンスを行う「タッチラグビー」のルールで実施。山口ラグビースクールの小学生や山口大アメフト部の学生らが6人一組のチームになって対戦した。

参加者たちは、田植え前の水が張られた田んぼの中に入ると、「冷たい」「走りにくい」などと声を上げて走り回った。試合が始まると、泥に足を取られてふらつきながらも、豪快な水しぶきを上げてトライを決めた。小学生向けの宝探しゲームなどもあった。

小郡小5年の男子児童（10）は「田んぼでラグビーをするのは初めて。走りにくかったけど、楽しかった」と笑顔を見せた。

（山田貴大）



水しぶきを上げて田んぼの中を走る参加者= 21日、山口市吉敷佐畑

たんぼラグビー、泥しぶきを上げてダッシュ 山口市



泥んこになってボールを追い掛ける参加者（吉敷地域交流センター前の田んぼで）

第1回たんぼラグビーは21日、山口市吉敷佐畑1丁目の水田であり、小学生から大学生までの50人が全身泥だらけになりながらトライを目指した。2015年に京都府で発祥したとされるラグビーで、県内では初開催。たんぼラグビーは、タックルなどのコンタクトプレーがないタッチラグビー。そのためラグビー経験の有無を問わず、小学生以上なら誰でも参加できる。地域おこしの一環として、山口大の学生らでつくるボランティア団体アミーゴやまぐち（石丸里奈代表）が主催し、県ラグビーフットボール協会、JA山口県などが後援、NPO法人山口せわやきネットワークこども明日花プロジェクトが協力した。吉敷地域交流センター前にある苗を植える前の田んぼを会場に、5～7人によるチーム対抗戦を繰り広げた。泥しぶきを上げてのダッシュ、派手な転倒、ダイビングトライ、出場した小学生の靴が脱げるハプニングなどが相次ぎ、会場は笑いと歓声に包まれた。小学生のみを対象にした宝探しイベントも同時開催した。